



2016(平成28年)1月25日発行
発行/大阪大学医学部附属病院広報委員会(総務課)
住所/〒565-0871大阪府吹田市山田丘2-15
TEL/06-6879-5021
http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp

禁転載 (この紙面は再生紙を使っています)

血液浄化部リニューアル

明るいスペースで、安心・快適な治療



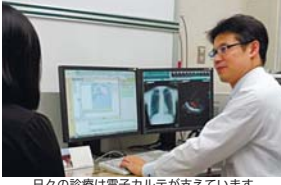
リニューアルした血液浄化部

血液浄化部は、腎臓内科に入院された末期腎不全の患者さんの透析導入や、地域の医療機関から手術や治療のために転入してこられる透析患者さん、急性腎不全の患者さんなどを対象とした透析療法を行っています。また、血液透析だけでなく、近年安全性の高まった「腹腔透析(CAPD)」にも積極的に取り組んでいます。...



寝たままでもテレビなどが観覧できます

二丁と生活環境にあった透析の選択が可能です。また、当部は透析療法だけでなく、膠原病や多発性硬化症などの自己免疫疾患に対する「血漿交換療法」や、炎症性腸疾患などに対する「白血球除去療法」なども行っています。...



日々の診療は電子カルテが支えています

本年1月より、本院の電子カルテシステムが新しくなりました。電子カルテは、患者さんの診療記録、医用画像を記録・保管し、必要時に閲覧可能とするシステムです。...

平成5年、病院が現在の地に移転した時からでした。それまでは、紙のカルテ、フィルム、複写式の伝票で運用していたため、人手や時間がかかっていた。...

ISO認定授与式



昨年9月17日、本院は臨床検査の国際認定であるISO15189の認定承認を受けました。今回の認定対象部署は、臨床検査部、輸血部、病理部、放射線部および超音波検査センターで、10月22日に行われた認定証の授与式においては、公益財団法人日本適合性認定協会の久保真氏(専務理事、事務局長)より改めて認定の意義とその維持における心構えが伝えられ、金倉病院長をはじめ同席した職員一同気持ちを新たにしました。

新電子カルテシステムが稼働

皆さんが来られると、カルテの取り寄せに20分ほどを要していましたが、電子カルテでは、すぐに診療記録を見ることができ、また、外来と入院で分かれていた紙カルテを、電子化によって統合し、全ての記録をまとめて閲覧できるようになりました。...

電子カルテのメリット

28000以上の端末
電子カルテは、この問題を解決し、今やチーム医療に欠かせないツールとなっている。新しく稼働する第五期のシステムは、28000台を超える端末、サーバで構成され、...

新診療科長等ごあいさつ



難病医療推進センター長
大 藪 恵 一

昨年、指定難病が306疾患に拡大され、また、小児慢性特定疾病も704疾患に増加しました。しかし、難病に関して提供される情報は不十分です。そこで、難病に関する、より適切な情報の提供、難病に関する治験あるいは臨床研究の推進、治療法の開発を含む今後の難病対策の発展への貢献などを目的として、難病医療推進センターが設立されました。...



リハビリテーション科長
吉 川 秀 樹

本年1月1日付にて、本院においてリハビリテーション科を新規に標榜することになりました。この診療科の設置は、2017年より始まる新専門医制度を踏まえて研修の基幹施設となるための条件として求められています。それにともない外来紹介患者を受け入れることで、超高齢社会の中で求められるリハビリテーションのニーズに対応しながら幅広い診療を提供いたします。...

PHOTO ホスピタルミニ・ニュース TOPICS



DMAT訓練

10月16日、列車と自動車の衝突事故を想定した救出救護訓練に災害派遣医療チーム(DMAT)として参加しました。事故によって発生した約100名の模擬負傷者をJR西日本、消防本部、警察本部、DMATが連携し救出しました。DMATは、救出された負傷者のトリアージを行い処置や治療を実施しました。実際の列車や自動車を使用した緊迫感のある訓練でした。



消防訓練(11/26)



クリスマスコンサート(12/24)



クリスマスイベント



市民公開フォーラム(12/5)

国際医療シンポジウム in オランダ



10月9日、10日、 Groningen University and Osaka Universityの共同国際医療シンポジウムGo Global!! 6が開催されました。中田研国際医療センター長をはじめとする各大学からの代表者が2日にわたって発表を行い、3回目を数える海外での国際医療シンポジウム開催で、さらなる本院のグローバル化についての意見交換も行いました。

禁煙です! 多数地内はすべて禁煙です! ご協力よろしくお願ひします



小児外科のメンバー

小児外科

子どものQOLに配慮し、低侵襲手術に積極的に取り組む

当科は外科のなかでも専門性の高い小児外科疾患を担当しています。近年、小児外科の手術は、低侵襲手術に積極的に取り組んでいます。近年、小児外科の手術は、低侵襲手術に積極的に取り組んでいます。近年、小児外科の手術は、低侵襲手術に積極的に取り組んでいます。



CT撮影室。左上のモニターに患者氏名が表示され、取り違えを防ぐ

放射線部

徹底した「患者確認」と「照射線量解析」で安全性を確保

放射線部は、X線やCTなどの放射線を使用し、診断や治療を行います。徹底した患者確認と照射線量解析を行い、安全性を確保しています。

「照射線量解析」で安全性を確保。放射線部は、X線やCTなどの放射線を使用し、診断や治療を行います。徹底した患者確認と照射線量解析を行い、安全性を確保しています。

病院長おすすめ御膳. 天ぷら衣づくり3つのポイント. サクッとおいしい!

現在、X線を使用するCT装置などで照射した照射線量の管理が世界的に普及しており、当部も全国に先駆けてデータを収集し、照射線量レ...